

季節と生物[3] 夏

月 日()気温 ℃

◎夏の生物のようすを前回の観察(春のとき)とくらべて

気づいたこと

植物

- ・サクラの葉がふえて、全体が大きな葉におおわれたようになった。

動物・植物の葉の色が春よりも、もっとこくなった。

- ・小さなヒキガエルが池の中から出てきた。
- ・ツバメが、えさを巣に運んでいた。
- ・おたまじゃくしやツバメのひなが成長していた。
- ・学校の池の近くで、シオカラビエを見つけた。

その他

生物	春	夏
サクラ	花が散って、葉が出てきていた。	葉がふえて、全体が大きな葉におおわれたようになった。
ヒキガエル	おたまじゃくしにだった。	小さなヒキガエルが池の中から出てきた。
ツバメ	巣に親鳥とひながいた	えさを巣に運んでいた

問題

生物のようすは、季節によって
どのように変わっていくのだろうか。

予想

- ・春の始まりより今ごろのほうがあたたかくなっているから、生物のようすが変わったのかもしれない。
- ・気温によって生物の成長や活動のしかたが変わる。

月 日() 気温 ℃

観察1 気温と動物のようすの関係を調べる。

- ① 春に見た動物や、初めて見つけた動物のようすを観察し、記録する。前回の観察とくらべて、変わったところも記録する。
 - ② 気温を記録する。水中の生物を観察したときは水温も記録する。
- ※生物をさわる前とさわった後には、手をあらう。
※生物の世話をするときには、きずつけないようにいねいにあつかう。



木にとまるセミ



木のしるに集まるカブトムシ

観察1 気温と動物のようすの関係を調べる。

月 日

観察した

場所

気温 ℃

カブトムシのかい方

- ①日光が直せつ当たらない、すずしいところに置く。
- ②ふ葉土がかわいてきたら、カブトムシにかからないように、きりふきなどの水でしめらせる。
- ③夏の終わりごろにたまごを産むので、ふ葉土を足して世話を続ける。
ふんが目立つようになったら、しめらせた新しいふ葉土にとりかえる。

観察2 気温と植 物のようすの関係を調べる。

- ① 植物のようすを観察し、記録する。
前回の観察とくらべて、変わったところも記録する。
- ② 気 温を記録する。



観察2 気温と植物のようすのを調べる。

_____ 月 日 _____

観察した

場所 _____ 気温 _____ °C

.....
月 日()気温 °C
.....

観察3 気温と育てている植物のようすの関係を調べる。

- ①育てている植物のようすを観察し、記録する。
- ②気温を記録する。



◎実になる花とならない花

ツルレイシやヘチマには、「おばな」「めばな」とよばれる2つの種類の花があります。めばなの元はふくらんでいます。

ツルレイシやヘチマの実は、めばなの元のふくらんだところがさらに大きくなったものです。おばなには実ができません。

植物のたねを観察しよう

_____ 月 日 _____

観察した

場所 _____ 気温 _____ °C

考えよう

- ・見られる生物の種類がふえている。
- ・気温が上がると、植物は大きく育つ。

わかったこと

気温は、春とくらべて上がっている。動物は、活動が活発になり、成長している。見られる動物の種類や数がふえている。
植物も、大きく成長している。葉がしげったり、くきがのびたりする。花が咲いて実がなっているものもある。

深めよう 植物の1日ののびを調べよう！

植物のくきが1日にどのくらいのびるか、調べましょう。

①朝、時こくを決めて、くきの先の位置に印をつける。天気と気温も調べる。

②5日間、続けて調べる

月 日	時こく	天気	気温	1日にのびたくきの長さ
7月3日	午前10時	晴れ	26℃	—
7月4日	午前10時	晴れ	26℃	5cm2mm
7月5日	午前10時	晴れ	26℃	3cm4mm
7月4日	午前10時	晴れ	26℃	5cm2mm
7月5日	午前10時	晴れ	26℃	3cm4mm